

# 東工大附属工高 教育後援会だより 第3号

## 近況報告

副校長 青木輝寿

今年度も残り少なくなりましたが、会員の皆様お元気ですか。

附属工高の1年を振り返ってみますと、特筆すべき事が幾つかあります。

スポーツ部門では、陸上部やサッカー部の生徒の活躍が目立ちましたし、技術部門では、化学系や機械系の「ものづくりコンテスト」などに挑戦し、優秀な成績を修め表彰されました。初めての試みの「附属学校紹介フォーラム2001」では、生徒の手で、企画から運営までなされ、多くの中学生の注目を浴びました。

このような活動に対し、教育後援会から暖かい応援の手がさしのべられ、感謝いたしております。

資金援助では、教育後援会から400万円が委任経理金として附属工高に払い込まれ、貴重な学校経理金となり、各種研究会年会費、健康診断補助等に使用させていただいております。心より感謝いたしております。後援会資金の扱い方については、もっと有効な使い方ができるようしたいと思います。

本校は、教育後援会改革の一つとして、来年度から新たな研究開発に取り組みます。それは文部科学省が提案する「スーパーサイエンスハイスクール」の構想に、本校は「科学技術教育システムの研究開発」というテーマを掲げ、申請いたします。大学との連携を強め、先端科学技術も取り込み、教育改革に臨みます。その研究に対しても後援会の皆様や保護者の皆様の応援をお願い申し上げます。

皆様のご支援に感謝いたしております

学校連絡係 橋川隆夫

はじめに、会員の皆様、クラス連絡委員また会の役員の皆様に感謝申し上げます。この会の発足当初はどうなるのか大きな不安がありましたが、皆様のご支援により順調に会が運営されております。皆様からの会費や奨学寄付金は、クラブ活動等の、生徒に直接関係する活動に使用させていただいております。

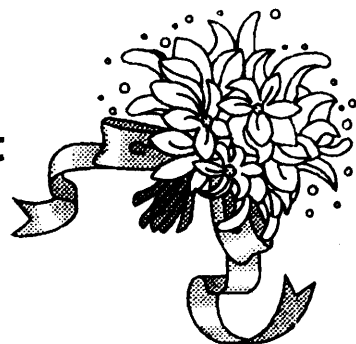
現在、本校ではスーパーサイエンスハイスクールに取り組むべく、大学の強い支援を得て全校あげて頑張っております。この取組みの一つに科学系クラブの拡充があり、今後はスポーツ系クラブの活動に加え、科学系クラブの大いなる活性化が期待されています。また、進学対策として補習等に学校全体として取り組む計画もあり、いよいよ本腰をあげて理工系大学へつながる科学技術高校に生まれ変わろうとしております。これらの計画が円滑に進行できますよう皆様のさらなるご支援をお願いいたします。

## 平成13年度 教育後援会活動報告

平成13年4月21日	後援会役員会議（全員） 総会準備
5月11日	役員会 総会準備
5月19日	総会（全員）役員紹介、12年度活動報告、収支決算 他
6月2日	役員会 寄附金 納入者への礼状、再度のお願い他配布物の保護者宛封書作り
6月30日	木工教室（ネームプレート）現保護者対象ツールペイント
7月7日	役員会 寄付金納入状況 他
9月1日	後援会役員会議（全員）バザー開催、国体出場に伴う援助金 他
10月13日	文化祭に於いて第二回バザー実施
14日	同 上
17日	奨学寄附金400万円納入（本年度委任経理金予算通り）
20日	役員会 バザー売上報告 他
26日	「教育後援会だより」第2号発行
11月10日	後援会役員会議（全員）バザー売上報告 他
12月1日	木工教室（クリスマスツリー）保護者対象ツールペイント
平成14年1月15日	会計役員会 決算準備
2月2日	後援会役員会議（全員）13年度卒業生の終身会員の会費納入、会計報告、規約について、他
16日	役員会 教育後援会だより第3号発行準備会
3月2日	後援会役員会（全員） 配布物封書作り 家庭宛て教育後援会アンケート調査配布 教育後援会だより配布

## 教育後援会のクラス連絡委員を引き受けて……

### 一年をふりかえってみると



#### ☐ 神澤明子 ☐

先生方はじめ役員の方々、お忙しい時間を削って頂いての活動有難うございました。新しい組織を発足させるにあたり、上に立つ方々には並々ならぬ御苦勞がおありになった事と思います。しかし其の御苦勞を保護者全員が知っているわけでは無いという事が、申し訳なく思います。【学校からの配布物が親元に届かない】ということも原因のひとつ、と思われませんが、親自身、高校の活動に関心が薄くなってしまいうようで、本校の後援会の存在すら、御存じ無い保護者がいる状況には、驚かされました。そのような中で、本会への理解を深め協力態勢を整えていくのは、大変難しい事だと感じました。会議では、上に立つ方々の暖かで穏やかなお人柄が反映し、堅苦しく無い雰囲気のおかげ、私などは自信の無い意見も出したりしましたが、連絡委員の方達がわりと自由に意見交換をする事ができたのは大変に良かったと思います。また、松山会長が細かい事には口を挟まずに、軌道が外れそうになった時のみ、ポイントを押さえて発言して修正して下さるので、安心して意見を出す事ができました。どんな意見でも、どんどん出して話会えるというのは、とても大事な事だと思います。徐々に態勢も整えられてきた様ですし、更に新入生の保護者の方々への理解を深める事が出来れば、本会も順調に軌道に載り、存分に活動を行う事ができるようになるのではないかと思います。年度が変わっても、新しい連絡委員の方々が思った事をどんどん出し合う事が出来るように、今の会議の雰囲気を大切にしていって頂きたいと思います。最後になりましたが、1年間お世話になり、本当に有り難うございました。

#### ☐ 久米康枝 ☐

入学式直後、役員選出の時、教育後援会という聞き馴れない言葉に、いったいどんな活動をするのかが知りたいという意味で引き受けさせて頂きました。実際一年間を通して子供達及び先生方の学校生活を円滑に過ごす為には、重要な役割をしている事を十分に理解出来ました。しかし、それにも増して高校生ともなれば、親の背を抜きニキビや髪型を気にする年頃になり、ともすれば親との会話を避けたがるのが、一般的な傾向と置いていたにもかかわらず、多少なりとも校内の様子や先生方の様子を知る事が出来た為、子供との会話にも接点生まれ向かい合っただけの会話の機会も増えた事の、驚きと喜びを感じております。数少ないながらも学校を訪れ、校内の雰囲気が解った事により子供に近い立場で見守っていられるようになった気が致します。学校に出向くと言うのは、億劫になりがちですが、少しでも多くのご父兄の方々に、お引き受け頂き校内の様子や子供達の様子に触れる機会を持って頂けたら良いのではと、実におせっかいな事だと言われそうですが、実感いたしました。

☐ 吉満純子 ☐

気力、体力、頭、と年々衰えるこの頃 …… 松山会長・諸先生方のパワーを頂き成長させて頂いた一年でした。皆様ありがとうございました。

☐ 松本麻里子 ☐

教育後援会のお手伝いをさせていただく機会を得、多くの先輩方にお会いする事が出来ました。年2回の木工教室のツールペイントは以前から興味があったものでしたし、バザーのお手伝いも和気藹々と楽しい時を皆さんと共有することが出来ました。行事だけではなく、生徒さん達の各部門の活躍を伺い、子供とも共通の話題をもつことができました。感謝しています。役員の皆さん、先生方、有難うございました。

☐ 八山貴美子 ☐

教育後援会という新しい分野で、1年間いろいろと学ばせて頂いた事に、心より感謝致します。何も分からず、ただ皆様の後について仕事をさせて頂き、ご迷惑をおかけしてしまいましたことをお詫び致します。連絡委員をさせて頂いて、感じましたことは、この伝統ある附属工高は数多くの諸先生方の暖かいご支援のもとで育まれてきたのだなということです。子供達は、本当に恵まれた環境の中で勉学に勤しむ事が、出来て幸せでした。親子共々感謝の言葉もございません。私に関わらせて頂いた中で、バザーが印象に残っております。皆様本当に積極的に協力して頂いて大きな成果を上げる事が出来て、嬉しく思いました。ただ一つ心残りでしたのは、せっかく手作りの作品を出品して頂いたにも関わらず、展示の仕方や値段の付け方にいまひとつ工夫が足りなかったのでは …… という点です。出品者の心づくしが十分反映出来るような方法を取る事が出来れば さらに良いものになったのではと思いました。いずれにしましても、2年目の経験を踏まえて更に素晴らしい教育後援会に、発展して行かれますことを、心より祈念致しております。本当にお世話になりまして、有難うございました。

☐ 清水とき子 ☐

私は教育後援会に、連絡委員として参加させて頂きましたが、会の内容をクラスの方に上手く伝える事が出来ませんでした。発足したばかりの会なので、私自身解らないことも多く、委員会に出席して後援会のことがやっと理解できたと思います。それから、退職をされた先生方、卒業生の父母の方々が中心になって在校生がより充実した学校生活を送れるように、また学業の励みになるような援助をより柔軟な発想で考えていって頂けるように希望したいと思います。

☐ 武藤智子 ☐

前年度、PTA理事をしまして、教育後援会発足の流れを議題としての理事会に、何回も出席していたにもかかわらず、やはり寄附という言葉には、問題があるのではないかと思っていました。今年度教育後援会連絡委員として、クラスの保護者会で会費と寄附の協力をお願いしましたが、先日の会議で、うちのクラスの納入者が増えていなかったと聞きまして、とっても残念でした。まだまだ教育後援会を理解していただけない事を痛感しました。三年生なのでもうすぐ卒業ですが、是非とも内容を解って頂き、卒業生全員が終身会員となって欲しいと願っております。

#### ☐ 藤本和美 ☐

この教育後援会の存在をご存じない保護者の方々が、まだまだ多いと思います。ましてやその成り立ち、活動内容、これからのこと等、理解して頂く機会もほとんど無く終わってしまった気がします。会議中も役員の方々のご尽力、先生方のご協力を感じながらも、どうしても出来ないクラス連絡委員でした。ただバザーでは、いろいろな方達とお話しが出来、掘り出し物も見つかって楽しい一日を過ごさせて頂きました。来年も開催されるうなので、是非のぞいてみようと思っています。皆様にも出品物のご協力を宜しくお願いいたします。

#### ☐ 志津京子 ☐

一年間、教育後援会のクラス連絡委員の活動を微力ながら、やらせて頂きました。活動の内容をよく把握しないまま、委員を引き受けてしまい、最初は戸惑うことも多々ありましたが、学校・先生方・PTAの方々との架け橋的な存在ということが、よくわかりました。定例会では先生方と役員の方、委員の皆さんが、各方面で活躍する生徒達の為にどのくらい補助したらいいのか等と予算の件で真剣に話し合い、PTAの方々に協力を呼びかけたり、とても重要な会である事を痛感致しました。一年間不慣れな委員ではありましたが、楽しく活動することが出来ました。どうも有難うございました。

## 平成13年度 東工大附属工高教育後援会 役員紹介

会 長	松山 悦子 (平成7年度卒業生保護者)	クラス連絡委員	久米 康枝	1年生A組
副会長	塚本 幸弘 (元 副 校 長)	"	鈴木 容子	B組
"	野村 三枝子 (平成7年度卒業生保護者)	"	岩城 久美子	C組
"	船倉 三恵子 (平成7年度卒業生保護者)	"	堀越 利男	D組
会 計	遠藤 登美子 (平成7年度卒業生保護者)	"	松本 万里子	E組
"	小谷 一啓 (2年生工業科学科保護者)	"	藤本 和美	2年生機械科
書 記	太田 万里子 (平成7年度卒業生保護者)	"	神澤 明子	電気科
"	横山 美枝子 (平成7年度卒業生保護者)	"	吉満 純子	電子科
会計監査	中村 豊久 (元 副 校 長)	"	進 ふみ子	工業化学科
"	中村 弘 (元 副 校 長)	"	志津 京子	建築科
連絡委員	橋川 隆夫 (工業科学科教官)	"	清水 とき子	3年生機械科
"	細谷 泰雅 (英語科教官)	"	八山 貴美子	電気科
		"	武藤 智子	電子科
		"	濱崎 保春	工業化学科
		"	今野 恵子	建築科

### 東工大附属工高教育後援会だより 第3号

東工大附属工高教育後援会

〒180-0004 東京都武蔵野市吉祥寺本町2-34-10

TEL・FAX 0422-22-6849

発行人 松山 悦子

編集責任者 塚本 幸弘

船倉 三恵子